

日本バプテスト病院 キャリア開発ラダー

レベル	I	II	III	IV	V
到達目標	1.キリスト教精神に基づく全人医療の実践に関心を持つ 2.看護職員として必要な姿勢と態度を身につける 3.基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践できる 4.自己目標や課題を明確にし、前向きに取り組むことができる	1.キリスト教精神に基づく全人医療の在り方を知る 2.標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践できる 3.日々の看護業務のマネジメントができる 4.部署目標を意識して自己目標の達成に取り組むことができる	1.キリスト教精神に基づく全人医療を実践する 2.ケアの受け手に合う個別的な看護を実践できる 3.部署の目標達成に向けて取り組むことができる 4.自己のキャリアデザインに基づき計画的に取り組むことができる	1.キリスト教精神に基づき多職種と連携し全人医療を実践する 2.幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践できる 3.医療チームにおいて看護の立場でリーダーシップを発揮する 4.部署の目標達成に向けて成果をあげることができる	1.組織を担う一員として、キリスト教精神に基づく全人医療を実践する 2.より複雑な状況においてケアの受け手にとつての最適な手段を選択し、QOLを高めるための看護を実践できる 3.看護部組織の目標達成に向けて取り組むことができる
	新人	日々のリーダー・2～3年目	【部署で活躍する実践者】 チームリーダー・夜勤のリーダー・実習指導 4年目以上(1年目からの在籍者)	【部署の看護活動を支援できる実践者】 ジェネラリスト・自部署のリーダー スタッフ教育担当者・実習指導責任者	【院内の看護活動を指導できる実践者】 看護部委員会活動のリーダー・管理者代行
全人医療	1)キリスト教精神に基づく全人的な存在である人間について知る 2)チャプレンや牧師室スタッフおよび牧師室の働きを理解する 3)朝礼に出席し、チャプレンのメッセージを聞く機会をもつ	37)対象を全人的に捉えることについて自分の考えを述べる 38)専門職がスピリチュアルに働きかける実際を知る 39)朝礼でのメッセージを通して病院各部署の働きを知る	69)家族や遺族のグリーフに向き合う 70)宗教行事や礼拝などの機会をケアに用いる 71)朝礼でのメッセージを通して医療団各事業体の働きを知る	101)スピリチュアルな痛みやグリーフに気づき、専門職に依頼できる 102)朝礼メッセージを担当する	128)患者・家族のみならずスタッフのスピリチュアルな痛みやグリーフに寄り添うことができる 129)全人医療とは何か、対外的に紹介・説明することができる 130)朝礼を理念育成の場と捉え、自部署からメッセージ者を選出する
看護の核となる実践能力	ニーズをとらえる力 4)助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から情報収集ができる 5)退院支援を意識した情報収集ができる	40)自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から情報収集ができる 41)得られた情報をもとにケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる 42)退院調整を意識した情報収集ができる	72)ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から意図的に情報収集ができる 73)ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知できる 74)得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる 75)他の医療チームメンバーからも意図的に退院調整に必要な情報収集ができる	103)予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる 104)意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる 105)地域包括ケアシステムを意識し、統合的に退院調整に必要な情報収集ができる	131)複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる 132)ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる
	ケアする力 6)指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる 7)指導を受けながらケアの受け手に基本的援助ができる 8)看護手順やガイドラインに沿って基本的看護技術を用いて看護援助ができる 9)プライマリナーズの役割を理解し、助言を受けて受け持ちができる 10)緊急事態がわかり、報告できる 11)指導を受けながら看護ケアを振り返り評価できる	43)プライマリナーズとしてケアの受け手のニーズを計画に反映し実践できる 44)ケアの受け手の個性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる 45)ケアの受け手の状況に応じた援助ができる 46)必要時支援を受け緊急事態に対応できる	76)プライマリナーズとしてケアの受け手の個性に合わせて適切なケアを実践できる 77)ケアの受け手の個性をとらえ、看護実践に反映できる 78)緊急事態を適切に判断し対応できる	106)ケアの受け手の顕在的・潜在的なニーズに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる 107)幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる	133)ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追求できる 134)複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
	協働する力 12)助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる 13)助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる 14)助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる 15)ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる 16)連絡・報告・相談ができる	47)ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれと積極的に情報交換ができる 48)関係者と密にコミュニケーションをとることができる 49)看護の展開に必要な関係者を特定できる 50)看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	79)ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力しながら多職種連携を進めていくことができる 80)ケアの受け手とケアについて意見交換できる 81)積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	108)ケアの受け手がおかれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる 109)多職種間の連携が機能するように調整できる 110)多職種の活力を維持・向上させる関わりができる 111)チームリーダーの看護活動を支援できる 112)地域包括ケアシステムの連携が機能するように調整できる	135)複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけられることができる 136)多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる 137)関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる 138)目標に向かって多職種の活力を引き出すことができる 139)部署の看護の質向上を目指した指導ができる 140)地域包括ケアシステムと連携した看護活動を支援できる
	意思決定を力 17)助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる	51)ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる 52)確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	82)ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる 83)ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる 84)ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	113)ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、支援できる	141)適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる 142)法のおよび文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる 143)対象に不利益や苦痛が生じないように意思決定や権利を順守する
看護の質を保證す能力	役割を遂行する力 18)社会人・組織人としての責任と役割を理解し遂行できる 19)部署の方針・目標を理解する 20)助言を得て自己の目標を立て達成できる 21)チームメンバーの役割、病棟での係の役割を遂行できる 22)基準、マニュアルに沿った安全対策について説明できる 23)自己の課題を明確にし、前向きに取り組む	53)部署の目標達成のためメンバーシップを発揮できる 54)自己の年間目標を立て達成できる 55)日勤の看護業務においてリーダーシップがとれる 56)部署の係活動に参加し活動する	85)部署の目標達成に向けてリーダーシップを発揮できる 86)リーダーとしてチームメンバーを尊重し、実践を支援できる 87)日常業務の調整を行い、問題解決のためのプランを立てることができる 88)看護部の委員会活動に参加し活動する 89)接遇においてモデルとなる	114)看護部の目標達成に向けてリーダーシップを発揮できる 115)看護の実践者として役割モデルとなる 116)部署の日常業務における問題解決ができる 117)看護部委員会、会議の推進役となる 118)部署のリスクマネジメントに指導的な役割を果たすことができる 119)接遇に関する指導ができる	144)病院の目標達成に向けてリーダーシップを発揮できる 145)部署の現状分析を行い、課題を明確にできる 146)部署の課題解決に取り組むことができる 147)部署のスタッフのキャリア開発支援ができる 148)所属を超え看護部や病院から求められる役割を遂行できる 149)院内の委員会活動に参加し活躍する
	マネジメント力 24)医療団各事業体の機能・役割を知る 25)「看護者の倫理綱領」を理解する 26)医療保健福祉および看護の動向について関心を持つ 27)個人情報保護および守秘義務順守の重要性を理解し実践する 28)療養環境・物品に関わる支援サービスの仕組みを知る 29)指導を受けながら医療安全・感染予防・防災マニュアルを手順に沿って実施できる 30)何事にも関心を持ち自ら学ぼうとしている 31)日々の業務の中で看護とは何かを考えることができる 32)指導を受けながら日々の看護実践をリフレクションしようとする 33)部署内の勉強会に参加する 34)院内の研修会に参加する 35)自分の学んだ知識や技術を伝達し、共有できる 36)学生の学習目標を理解し、協力的に関わる	57)自部署に関連する医療保健福祉および看護の動向について理解できる 58)倫理的課題を意識している 59)療養環境・物品に関わる支援サービスを理解する 60)医療団事業体間の連携方法を理解する 61)医療安全・感染予防マニュアルを手順に沿って実施できる 62)助言を受けながら防災マニュアルを手順に沿って実施できる	90)診療報酬改定を理解し、自分たちの看護に結び付けて考えることができる 91)倫理的感性を高めることに取り組んでいる 92)療養環境・物品に関わる支援サービスを活用できる 93)医療団事業体内の資源の活用について相談できる 94)緊急・災害時に適切に対処できる	120)診療報酬改定を理解し、自分たちの看護に結び付けて実践できる 121)倫理的課題の解決に取り組んでいる 122)医療団事業体内の資源を活用し連携できる 123)緊急事態にリーダーシップを発揮し対応できる	150)経営参画の意識を持つことができる 151)倫理的課題解決のため指導的に関わることができる 152)医療団事業体間の連携の成果を評価できる 153)医療団事業体間の連携に関する課題解決に取り組むことができる
	教育・研究する力 30)何事にも関心を持ち自ら学ぼうとしている 31)日々の業務の中で看護とは何かを考えることができる 32)指導を受けながら日々の看護実践をリフレクションしようとする 33)部署内の勉強会に参加する 34)院内の研修会に参加する 35)自分の学んだ知識や技術を伝達し、共有できる 36)学生の学習目標を理解し、協力的に関わる	63)自己のキャリアデザインを考える 64)看護実践を通して自己の看護観を明確に表現できる 65)受け持ち患者の事例をまとめ、実践した看護の評価を受けることができる 66)研究メンバーの一員として研究活動に参加できる 67)後輩に対して理論的根拠を持って基本的看護技術の指導ができる 68)指導を受けながら学生の学習ニーズに即した指導ができる	95)キャリアデザインに基づき積極的に取り組むことができる 96)自己の目標を意識して継続的に院内外の研修や学会に参加する 97)自己の研究課題を明確にできる 98)先輩の学習課題を理解し、看護実践の指導ができる 99)学生の学習ニーズを理解し、指導ができる 100)院内外の研修などの学びを同僚に伝達する	124)研究メンバーの中心となり取り組むことができる 125)部署の教育プログラムの計画、実施において中心的役割を果たすことができる 126)スタッフの指導および指導者としての役割を果たせる 127)学生の学習ニーズに即した指導と評価ができる	154)自己の目指すキャリアについて系統的に学習課題に取り組み、その結果を有効に活用できる 155)部署の教育プログラムの計画、実施において指導ができる 156)部署のメンバーの研究指導ができる 157)研究の成果を臨床で応用できる